



同窓会報

尼崎
小田

Vol.25

令和7年4月1日発行

尼崎小田高等学校

〒660-0802 兵庫県尼崎市長洲中通2-17-46
TEL 06-6488-5335 FAX 06-6488-5337

Design 株式会社 サラト <https://salat.co.jp>



同窓会長就任に当たり

同窓会長 掛井 政之（2期生）

この度、鍋島前会長の後を継ぎ会長に就任しました。同窓会のために微力ではありますが務めますのでどうぞよろしくお願いいたします。まず、最初に30年以上会長として同窓会を牽引していただいた鍋島前会長に感謝とお礼を申し上げます。ご苦勞様でした。そして、本当にありがとうございました。今後も、同窓会へのご支援御願いたします。

さて、私は生徒として、教員として、会長として今回が3回目の母校との関わりです。2回目の教員として転勤で小田高校を離れる際、同窓会報に「2回目の卒業になりました。」と文章を寄稿させていただきました。まさか、3回目の関わりを持つことになるとは思ってもみませんでした。3回目は会長として、同窓生が母校を核として年代を超え絆を深められるように。そして、現役の生徒達が更に充実した学校生活を送れるよう母校を応援できればと思います。どうぞ、ご協力御願いたします。

3回の小田高校との関わりを振り返ると、1回目の生徒としてはA棟のみが完成していたので、入学式は尼崎文化センターで行いB棟の工事音の音を聞きながら授業が始まりました。1年生では体育館が、2年生では中庭に駐輪場が、3年生ではプールと食堂が完成しました。初代校長の安本先生は、集会の度に「Plain living and high thinking」（有名なイギリスの詩人W,Wordsworthの言葉）を生徒に訴えました。当時は、理解することが難しかったのですが、年齢を重ねる度に安本先生が何を生徒に伝えたかったのかということを理解できるようになりました。創立20周年の記念事業として同窓会から玄関横の校訓碑を学校に寄贈しました。除幕式には安本先生にも出席いただき、ご高齢でしたが、校訓の意味を同窓会役員が生徒達に説明する際には大きく肯いておられました。施設建設と共に1回目

の卒業をむかえましたが、1期生の先輩方は小田南中学校の使っていない木造校舎で1年間仮住まいされ、卒業の際にも校門はありませんでした。2期生として、常に1期生の先輩方の背中を追いかけての2年間でした。先輩達が、0から今の小田高校への礎を築いていただいたことは後輩達に機会ある度に伝えていきます。

2回目の関わりは数学教員として、母校に戻りました。13年間の在籍で、4つの学年団で担任、他に教務部に所属しました。20才台後半から40才位まで教員として多くのことを学ばせていただきました。2年目に現在のサイエンスリサーチ科・国際探求学科の原型である「理数、英語コース」が設置されました。小田高校の大きな転換点だったと思います。同窓会に関しては、着任早々、卒業生と言うことで同窓会担当となりました。この時、同窓会報発行等を裏で支えていただいたのは、図書室担当の長谷川先生でした。編集はもとより発行作業全てに長谷川先生がサポートして下さったことで無事会報を発行することが出来ました。感謝に堪えません。また、13年間に2回大きな同窓会イベントが有りました。5期生の西さんが野球競技で2回続けてオリンピックに出場されたので、5期生の学年団の先生方や野球部OBの方々に出席いただき激励会を催しました。現在のようにスマホがない時代、海外遠征中の西さんと連絡が付かず直前までやきもきしたことを覚えています。

3回目の関わりとなる現在の小田高校。その教育活動の範囲と充実振りは県内の他の公立学校の追随を許しません。その母校がこれからも益々「地域から信頼され、生徒にとって入学して良かった高校」であり続けられるようにどうぞ協力を御願いたします。



同窓会報に寄せて

校長 山根 尚

同窓会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

令和6年4月に校長として着任致しました山根 尚（やまね ひさし）です。どうかよろしくお願い致します。まずはじめに、この度、屋外の旧バレーボールコート跡を、「同窓会広場」として整備して頂きましたこと、心よりお礼申し上げます。

学校行事等の際に活用できるスペースができ、そこで生徒達が活気あふれた活動をする様子が目に浮かぶようです。本当にありがとうございました。

昭和47年に旧小田村（小田地域）住民の期待の中で創立されました本校も、令和3年には創立50周年を迎え、今、次の50年に向けて歩み出しているところです。そのような中、在校生はかつてのように小田地域の生徒達だけではありません。令和6年5月1日現在の本校在籍生徒数は825人ですが、総合選抜制度が実施されていた頃に、本校生徒のそのほとんどを占めていた、現在の小田・小田北・大成の3中学校出身者は185人と全体の22.4%です。尼崎市以外の中学校出身者も13.5%在籍しており、このことは尼崎地域を中心とした第2学区（尼崎市・西宮市・伊丹市・宝塚市・川西市・猪名川町・丹有地区）の広い範囲から、信頼され、行きたい学校、行かせたい学校となつて

いる証であると考えます。

現代は国際化や情報化が急速に進み、激しい変化が短いスパンで起こる予測不能な社会です。ここでは知識の吸収にだけ長けていても活躍できず、自分で新しいものを創り上げていく力が必要です。この力の習得には、探究的な学び等を通じた「自ら考え、自ら学ぶ」学習環境が必要となります。本校は文部科学省指定のスーパーサイエンスハイスクールを核として、探究活動に全校で取り組み、それらを通して、現状を正しく認識し、適切な課題を「見つける力」、その課題解決に向けて柔軟に粘り強く研究を「すすめる力」、そして、得られた知見や成果を多くの人が共感を持って受け入れてくれるよう発信する「ひろげる力」を身につけるとともに、その過程において、リーダーシップや協調性、レジリエンス、自己肯定感等の非認知能力の向上も目指します。

本校に受け継がれてきた教育指標「Plain Living and High Thinking」（生活は質素に、理想は高く）を大切にしながら、時代の変化に応じた尼崎小田高校らしい教育活動に、教職員一同、力を合わせて取り組んでまいります。

最後になりましたが、同窓会の皆様へ対し、引き続き本校へのご理解とご支援をお願いしまして、寄稿と致します。



同窓会報発行に寄せて

前同窓会長 鍋島 勝吾

小田高校同窓生の皆さんこんにちは。皆様にはご健勝のこととお祝い申し上げます。私は前同窓会長の鍋島です。ここで、今までの私なら、よろしくお見知りおき下さい、というところなのですが、おそらくこの同窓会報をもちましてこのような文章を寄稿することもなくなると思いますのでこれが最後の挨拶となります。

まずこの文章が掲載されますのは令和7年4月中旬になるかと思いますが、私がこの文章をしたためておりますのは令和7年1月上旬でございますので、前提としてお考えいただければ幸いです。

私は昨年6月に同窓会長を、アイドルで例えるなら卒業させていただきました。

同窓会長に就任しまして、40年余り、各周年行事での挨拶文や同窓会への入会式など皆さんの記憶にひょっとしたら残っているかもしれません。少しでも名前を聞いて、前の同窓会長だと思っていただけでしたら幸いです。

今から本校についての思い出や、私自身についての思い出について語らせていただきますが、これにつきましては今まででも何度か語ったことがございます。しかし今回につきましては最後だと思ってお許しください。

ただし私が本校に在籍したのは50年ほど昔のこととなりますので、思い違いや勘違いなどもあるかと思いますが、そのあたりはご容赦いただければ幸いです。

ともあれ本校は、沿革にもあります通り、小田地区初めての普通高校として1971年に創立されました。

そのころはまだ高度成長期の最後ともいえる時期で、工都尼崎と云われていた面影が残っていた時代です。

もちろんその年には生徒はおりません。翌年の4月に1期生が

入学して学校として成り立ったわけですが、その1期生は現在では無くなってしまいました小田南中学の旧校舎で1年を過ごされました。

2期生も受験時はその旧校舎で受験いたしました。そして4月の入学時に於いて現在では古くなってしまいましたが当時はピカピカの新校舎にて授業が開始されました。それでもなお体育館やプールは無く、夏休み中に何とか出来上がったという感じでした。校歌も未だなく私が1年の夏休み中に完成し、2学期の始業式に生徒会やコーラス部が中心となって発表されました。

その校歌の歌詞の2番は～産業の響き脈打ち～というフレーズが出てきますが、そのとおりの成長ぶりでした。

それでもしばらくは学校を囲んでいる塀は、現在のものとは違い、元の跡地であった大日織維のままのもので、内側にくの字のように折れ曲がったまるで刑務所のような印象を受けるものでした。

それから中庭の整備とか各周年記念行事等もありましたが、私にも本校にも最大の試練と言えるものが、これは一生忘れることが無いかと思いますが、30年前の阪神淡路大震災です。私事ですが、当時私は潮江のとある賃貸マンションに住んでいましたが、タンスに囲まれた部屋で就寝していました。地震が起きた瞬間は、身体が沈み込むような振動がきて、そのあと左右に揺さぶられるような動きであったと記憶しております。

本校に於いても、これは正しいかどうかあやふやですが、当日はスキー合宿に行く為に集合する予定だったとききました。また本校の体育館も被災された皆様の避難所として長らく使用されたように聞き及んでおります。

気が付けば、あの震災から30年が過ぎ去ってしまったことなど、時の流れの速さが恐ろしくなります。

そして2020年からの新型コロナ禍や、ロシアによるウクライナ

侵攻、パレスチナ問題など、世界の環境は激変しようとしております。なにより昨年は、1月1日の能登半島地震に始まり、次の日には羽田における航空機事故、など波乱に満ちた幕開けでした。またアメリカではトランプ氏の大統領再選や、お隣の国韓国のユン大統領の戒厳令発布からの弾劾、中東シリアではアサド政権の崩壊など政治的にも激変の年になりました。我が国に於いても、総選挙からの自公勢力の激減、国民民主党の伸張など政治勢力の劇変が起こりました。

そして今年も終戦から80年、昭和が続いていけば、昭和100年、そして上記の通り、震災からは30年の節目に当たります。

ここで、尼崎から離れてしまった方々に少し尼崎の現況をお知らせしたいと思います。

ご存知の方も多いと思いますが、JR尼崎の北側はキリンビールが移転した跡地に、マンションが続々と立ち並び、また駅の南側は小学校の跡地や古い文化住宅などが壊され、一戸建て住宅が立ち並びだし、阪神間でも住みやすい町と言われております。その為もあるのか、潮小学校は児童が増えずにプレハブを建ててしのいでいるようです。

また尼崎は古代からの交通の要衝でもあり、かつて中国街道が通っていた所でもございますが、最近は湾岸部を中心として巨大な物流倉庫が立ち並び、現在も何棟も新設がなされておりまして、交通至便の場所の面目躍如ということとなっております。

そして本校の所在地の長洲は、かの菅原道真公が大宰府に流された折に、船の風待ちをする間、尼崎にとどまり、「ここはどこか」と問われたところ、長洲と言われて「ここでも長洲（流す）か」といって嘆かれたという逸話が残る場所でございます。この由緒ある長洲の地に54年、現在ではもとの普通科に加え、国際探求学科、サイエンスリサーチ科、普通科内に看護医療・健康類型の各学科を備え大きく発展してまいりました。

話がそれましたが、本校の創立50周年記念行事が終われば、交代すると言ってきておりました新同窓会長に、掛井政之氏を迎えることができました。掛井氏は私と同期ではございますが、大学を卒業後兵庫県の教員として奉職され、本校にも長らく在籍された後、川西市内の高校の校長を歴任された方でございます。

そのような人格、経歴ともに申し分ない方にあとを譲ることができまして、私といたしましては肩の荷が降りたような気がいたします。思えば40有余年にわたり、同窓会長を務めさせていただきまことは偏に皆様の御協力特に同窓会事務局のおかげだと感謝しております。

拙い文章ではございますがお読みいただき有難うございました。

最後に新会長に就任されました、掛井政之氏並びに同窓生の皆様のご多幸と、県立尼崎小田高等学校のますますの御繁栄を祈念致しまして私の挨拶とさせていただきます。

同窓会活動報告

小田高 8 回生還暦同窓会

開催日 2023年11月4日

卒業年 1982(昭57)年3月卒業(第8回)

代表幹事 藤原 誠 神田 幸司 関 こうじ

小田高8回生還暦同窓会を11月4日リーガロイヤルホテル大阪にて行いました。参加者は一次会86人、二次会68人。30歳の年から始め、今回6回目の学年同窓会になります。ホテルでは美味しい料理を提供いただきましたが、みんなお話に夢中で、食べるのも忘れて、あっという間に2時間が過ぎました。一次会の締めの前に、みんなで校歌をうたいました。一人が歌い出すと、みんなが大きな声で歌い、すごく感動しました。記念にという事で、みんなに色紙を書いてもらいました。還暦とは思えないほどアグレッシブで、笑顔が絶えない同窓会となりました。次回は、5年後の65歳に。皆さん、ありがとう。



9 回生還暦同窓会を開催しました！

開催日 2024年11月3日

卒業年 1983(昭58)年3月卒業(第9回)

代表幹事 横田 武史 福井美也子 塚本(米田)朋代

さわやかな秋晴れとなりました11月3日(日)にホテルヴィスキオ尼崎にて3回目・還暦祝いとなる学年同窓会を開催しました。恩師の先生方3名、同級生76名、合計79名が集い再会と還暦を慶びあいました。3回連続参加の方も今回が初参加の方もおられましたが、みんな懐かしい顔を見かけるとすぐに話が盛り上がっていました。一次会では「卒業アルバムスライドショー」「小田高思い出クイズ」「校歌斉唱」で盛り上がり、恩師の先生方からの激励のこもったご挨拶で締めくくりました。二次会は約半数のメンバーが参加しテーブル対抗のカラオケ合戦(?)となりましたが、歌う人も聞いている人も笑顔で楽しい時間を過ごしました。



国際探求学科

国際交流の新たな一歩：台湾との姉妹校提携とオーストラリア研修

皆さまにはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。今回の会報では、本校が取り組んだ国際交流活動についてご報告いたします。

台湾の高校と姉妹校提携を締結

本校は、今年度新たに台湾のChiaChi高校と姉妹校提携を結びました。この提携により、双方の学校間での交流がますます活発になることが期待されます。具体的には、オンラインを活用した共同授業や文化交流プログラムの実施、さらには生徒同士が直接会う交換留学プログラムの計画も進めています。この提携を通じて、生徒たちは異文化理解を深めるだけでなく、国際的な視野を広げる貴重な機会を得られると確信しています。

オーストラリア研修を実施

引き続き、オーストラリア研修を実施しました。参加した生徒たちは、現地の学校での授業体験やホームステイを通じて、

生きた英語に触れるとともに、異文化への理解を深めることができました。特に、ホストファミリーとの交流や現地の自然環境を学ぶアクティビティは、生徒たちにとって忘れられない思い出となったようです。帰国後、生徒たちは「言葉の壁を乗り越えた達成感」「自分の成長を実感できた」など、多くの前向きな感想を述べており、この研修が大きな自信につながったことが伺えます。

これらの国際交流活動を通じて、生徒たちは自らの可能性を広げ、未来に向けた新たな一歩を踏み出しました。今後も本校は、国際社会で活躍できる人材の育成に努めてまいります。

引き続き皆さまの温かいご支援をお願い申し上げます。



サイエンスリサーチ科

サイエンスリサーチ科では、自然科学に重点を置いた専門学科、自然科学への興味・関心の育成を目指しています。数学、理科の授業時間数を充実させ、基礎から発展的な内容まで取り扱っています。また、3年間を通して、探究活動の授業を行い、

自然を探究する態度を育成しています。また、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）指定Ⅳ期4年目にあたり、様々な実習等を行っています。



昨年度から尼崎の工場見学を行っています
(1年生10月)



神戸女学院大学で研究テーマ発表会を行いました
(2年生6月)



国立台南家齊高級中等学校の来校生徒に、英語でポスター発表を行いました(3年生10月)



文化祭ではSR科展示を行っています
(全学年6月)

看護医療・健康類型

看護医療・健康類型が設置されたのは2013年です。多くの卒業生が尼崎の医療・福祉の現場で活躍しています。



京都大学IPS細胞研究所、感謝状贈呈式に参加
(2024.12.24)



高大連携フォーラムIN京都大学にて、災害時要配慮者への支援について報告する(2024.12.22)



「つながる防災」にてAEDの救急訓練を日本赤十字兵庫県支部の職員から受ける(2024.11.22)



校外活動
(ウェイクボード体験)



校外活動
(ロードレース大会)



スポーツ科学基礎
(テーピング実習)



スポーツ科学基礎
(スポーツマッサージ)



ベイコム連携事業
(スマイルキッズ・器械体操)



ベイコム連携事業
(スマイルキッズ・身体作り)



ベイコム連携事業全体写真

普通科

普通科では2年生に『探究応用』という授業があり、その中で『あまおだ地域応援隊』という、地域貢献を課題とする班があり、部活動としても活躍し、近年、そのニーズが高まり、様々な場所で活動しています。



高齢者対象のスマホ教室



子供向け昔あそび



赤い羽根共同募金



小学校での学習支援



高齢者施設訪問



地域清掃活動

各部活動の近年、主な戦績・活動状況

運動部

部活動	主な戦績や活動内容
硬式野球	第90回 選抜高校野球記念大会 『21世紀枠』兵庫県推薦校 選出 令和4年度 第104回 選手権大会 県ベスト16 令和6年度 春季阪神地区大会 第1位 → 県大会出場 春季兵庫県大会 ベスト32 秋季阪神地区大会 第1位 → 県大会出場
卓球 (男子)	令和5年度 市内総体 ダブルス優勝 令和6年度 県総合体育大会 団体 出場
卓球 (女子)	令和5年度 市内総体 団体 優勝 令和6年度 県総合体育大会 ダブルス 出場
バスケットボール (男子)	令和4年度 兵庫県高等学校総合体育大会 県ベスト16 令和5年度 尼崎市民スポーツ祭準優勝 令和5年度 ウインターカップ兵庫県予選 出場
バスケットボール (女子)	日々、練習を頑張っています
ハンドボール (男子)	日々、練習を頑張っています
バレーボール (男子)	令和5年度 兵庫県バレーボール高等学校新人大会 阪神地区予選大会 ベスト8
バレーボール (女子)	令和6年度 阪神地区秋季リーグ戦5部優勝 4部昇格 (女子バレー)
ソフトボール	令和4年度 第72回尼崎市民スポーツ祭高校女子ソフトボール大会 優勝 阪神ソフトボール競技 春季大会 優勝
サッカー	令和6年度 兵庫県高等学校サッカー選手権大会 決勝ラウンド進出 (ベスト32)
ソフトテニス (男子)	兵庫県高等学校総合体育大会ソフトテニス中央決勝大会 個人戦出場 2ペア 団体戦出場 ベスト16 第68回尼崎市高等学校総合体育大会ソフトテニス大会 団体戦 優勝 兵庫県高等学校新人中央大会ソフトテニス阪神支部予選大会 団体 第3位
ソフトテニス (女子)	兵庫県高等学校総合体育大会ソフトテニス新人中央大会 個人戦出場 1ペア 団体戦出場 令和5年度 兵庫県高等学校総合体育大会ソフトテニス中央決勝大会 団体戦出場
バトントワリング	尼崎市吹奏楽連盟主催夏季・冬季・春季演奏会バトンの部出演
剣道	第30回バトントワリング兵庫県大会 出演 令和5年度 兵庫県高等学校総合体育大会剣道大会 女子個人県大会出場
陸上競技 (近畿大会以上)	令和4年度 ・近畿インターハイ (男子) 三段跳 決勝11位 ・近畿ユース (2年男子) 三段跳 9位 (2年女子) 棒高跳 9位 令和5年度 兵庫県高等学校剣道新人大会予選 阪神地区大会 女子団体ベスト8 令和5年度 ・近畿インターハイ (男子) 三段跳 予選13位 ・近畿ユース (2年男子) 棒高跳 出場
水泳 (近畿大会以上)	令和4年度 第6回近畿高等学校新人水泳大会出場 令和5年度 第77回近畿高等学校選手権水泳競技大会出場 第7回近畿高等学校新人水泳競技大会出場

文化部

部活動	主な戦績や活動内容
放送	令和4年度 NHK杯兵庫県大会 朗読部門 入賞2名
写真	令和3年度 県総合文化祭 阪神予選 入選 4作品
茶華道	令和元年度 全国高等学校総合文化祭茶道部門 出場
美術	平成29年度 児童・生徒の『交通安全ポスター』優秀作品尼崎東交通安全協会長賞
E S S	English Newsletterを発行しています。部室では英語で活動しています。
吹奏楽	令和3年度 兵庫県吹奏楽コンクール東阪神支部大会 小編成の部 金賞
科学研究・物理班	少人数ですが、文化祭や対外行事に向けてコツコツと活動しています。
天文班	太陽、月、惑星などの観測を随時しています。プラネタリウムで星空の学習も。
化学班	令和元年度 『南極北極科学コンテスト』奨励賞 東京で発表を行う
生物班	国立極地研究所のホームページに部活動紹介動画の掲載 令和6年度 第68回 日本学生 科学賞 中央審査（全国大会）出品 日本動物学会 近畿支部 秋の高校生研究発表会 優秀賞
家庭科研究	毎週水曜日に調理実習（お菓子やランチメニューなど）を行っています。
漫画研究	毎週月・水・金の放課後活動。文化祭ではイラスト集を販売しています。
アコースティックギター	エレキではなくアコースティックのギターで、好きな曲の練習をしています。
演劇	令和5年度 文化祭代替公演（本校体育館） 兵庫県高等学校演劇研究会 阪神支部発表会（ピッコロシアター大ホール） 尼崎市演劇祭（ピッコロシアター中ホール） 兵庫県高等学校演劇研究会 春季発表会（同上）
書道	第46回 兵庫県高等学校総合文化祭 書道展 優秀賞、特選 ・第24回宇野雪村賞全国書道展 学生の部 特選 2名 学生の部 佳作 2名 ・第47回兵庫県高等学校総合文化祭書道展 特選 1名 ・第32回国際高校生選抜書展「書の甲子園」 秀作賞 1名 入選 4名
将棋	令和2年度 兵庫県高等学校将棋大会代替大会 男子個人戦B級 優勝
あまおだ地域応援隊	本紙 5ページで紹介させて頂いています

進路状況

【過去5年間 進学先】

回生	大学		短大		専門（各種）		就職		進学準備		家事・未定他		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
50	124	71	0	4	4	28	3	3	3	0	1	1	135	107	242
49	118	88	2	4	9	32	1	5	8	1	1	0	139	130	269
48	97	113	0	11	7	30	0	4	6	5	0	0	110	163	273
47	132	104	1	10	8	32	2	5	8	2	4	0	155	153	308
46	105	93	4	11	10	53	2	6	17	3	0	3	138	169	307

令和4・5年度
兵庫県立尼崎小田高等学校 決算報告

収入の部(普通預金)	
項 目	金額
前年度繰越金	6,045,682 円
利息	151 円
49回生 同窓会費	1,614,000 円
50回生 同窓会費	1,452,000 円
合 計	9,111,833 円

支出の部(普通預金)	
項 目	金額
高校へ補助	600,000 円
50周年記念誌代	1,635,410 円
50周年記念誌代送金手数料	1,100 円
同窓会総会用往復はがき	6,300 円
50周年記念誌 郵送料	140 円
部活動 激励金 近畿大会	145,000 円
49回生 卒業記念品代	242,150 円
同窓会ホームページ運営費	110,000 円
8回生同窓会補助金	30,000 円
トランポリン競技 激励金 近畿大会	5,000 円
トランポリン競技 激励金 インターハイ	10,000 円
トランポリン競技 激励金 国民体育大会	10,000 円
トランポリン競技 激励金 世界大会(イギリス)	50,000 円
雑費	1,760 円
50回生 卒業記念品代	236,600 円
合 計	3,083,460 円

次年度繰越金 6,028,373円

令和6年度
兵庫県立尼崎小田高等学校 予算案

収入の部(普通預金)	
項 目	金額
前年度繰越金	6,028,373 円
利息	200 円
51回生 同窓会費	1,680,000 円
合 計	7,708,573 円

支出の部(普通預金)	
項 目	金額
高校へ補助	300,000 円
部活動 激励金	100,000 円
51回生 卒業記念品	280,000 円
同窓会報	1,500,000 円
同窓会HP管理費	55,800 円
雑費	200,000 円
合 計	2,235,800 円

次年度繰越金 5,472,773円

事務局より

- 旧バレーコートを『同窓会ひろば』という名称に改め、アスファルト化しました。このスペースは文化祭、書道パフォーマンス等で、小田高生の活躍場として活用いたします。尚、通常は校内駐車場として使用しています。



- 次回同窓会報より、郵送を廃止し、『尼崎小田高校 同窓会』のホームページにアップを考えております。ご協力をお願いいたします。

『尼崎小田高校 同窓会』ホームページURL <https://dousoukai.site/amaoda/>



- 学年単位での同窓会には、補助が30,000円出ますので、実施される場合は尼崎小田高校同窓会事務局までお電話ください。

06-6488-5335

編集後記

2024年度より、同窓会長が「掛井政之」様に代わりました。「鍋島勝吾」様には長年に渡り、会長を務めて頂き、感謝し尽せない思いであります。これからも鍋島様には尼崎小田高校同窓会に対して、ご協力をお願いする次第です。

さて、2024年度に現役の小田高生が様々なイベントができるように県民まちなみ緑化事業と協働し、旧バレーコートの整備を同窓会として行いました。小田高祭等で有意義に利用していることを是非、ご覧ください。

また、同窓会報発行に関しては、3年に1度とし、次回からの発行はデジタル発行も視野にしております。この件に関しては、同窓会ホームページよりご報告させていただきます。